

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.14 2010年7月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

日立ハイテクノロジーズ、LifeSize Video Centerの日本国内販売開始、1000ヶ所へのHDストリーミング配信も可能



LifeSize Video Center (日立ハイテクノロジーズ資料)

日立ハイテクノロジーズ株式会社(東京都港区)は、ビデオ会議ストリーミングソリューション「LifeSize Video Center(ライブサイズビデオセンタ)」の日本国内での販売を7月1日開始した。

LifeSize Video Centerは、ビデオ会議端末と組み合わせで使用することで、HDストリーミングの録画・録音、そして、ライブとオンデマンドの配信が行える。「LifeSize Room 220」と組み合わせでリモコンひとつで操作が簡単できる。

「アプライアンスサーバであるため、導入やユーザの日常の操作、またシステム管理は至って簡単だ。直感的な画面を提供しているため、システムに慣れない人でもリモコンで違和感なく操作を行えるようになっている。HD解像度でのオンデマンド配信では、350ユーザ、そしてライブ配信では、1000のユーザが同時に視聴できるキャパシティを持っている。」(日立ハイテクノロジーズ)

LifeSize Video Centerを使って録画をするには、まずレコーディングキーを作成する。このレコーディングキーは、録画する映像の画質の他、録画された映像の保存先やこの映像のアクセス権限を設定したもの。録画を開始する際に、入力画面が表示されるので、そこにレコーディングキーをリモコンで入力することで録画が開始できるようになっている。そして、録画を開始すると、画面に向かって右上に、赤色で塗

られた丸が表示される。これは終了すると画面から消えるようになっている。

録画は、MPEG4に対応したフラッシュビデオで行っており、複数の映像の同時録画・録音にも対応する。録画の解像度については、720p30fpsの他、480p30fps、360p30fpsでも録画できる。720p30fpsに必要なビットレートについては、768kbps以上の帯域があれば基本的に可能。加えて、LifeSize Video Centerは、ハードディスクを内蔵しており、録画する映像の解像度にもよるが、720p30fpsでは、2,600時間、また、360p30fpsでは、7,800時間の録画が可能。

接続拠点数・録画時間一覧

帯域	解像度	録画時間	同時録画	ライブストリーミング	オンデマンドストリーミング
768Kbps	720p30	2,600時間	20本	1000本	350本
400Kbps	480p30	5,200時間	40本	2000本	400本
270Kbps	360p30	7,800時間	50本	2500本	450本

LifeSize Video Center 接続拠点数・録画時間一覧 (日立ハイテクノロジーズ資料)

その他、録画された映像は、先ほどのレコーディングキーで指定された保存先に保存される。保存先とは、LifeSize Video Centerのハードディスクに任意で設定されたパーティションで区切られた保存エリアことを指す。また、アクセス権限とは、その映像が全ての人が視聴できるのか、あるいは、特定の限られた人なのかを意味する。

さて、録画された映像の再生は、パソコンからネットワークを経由してLifeSize Video CenterにIDとパスワードでログインし、ポータルサイト画面にアクセスすることで再生が行えるようになっている。

ポータルサイト画面は、全体的に白色を基調としており、シンプルで直感的なレイアウトになっている。Youtubeライクなレイアウトでわかりやすい。

サイトにアクセスしてまず表示される画面は、録画された映像ファイルが、サムネイル付きで一覧表示されている画面だ。それらのアーカイブ映像ファイルは、レコーディングキーで指定されたアクセス権によって再生可能なものが表示されている。

一覧の中に掲示されている映像ファイルを再生する際には、再生したい映像ファイルのサムネイルをマウスでクリックする。そうすると、再生の画面が現れてその映像の再生が始まる。もちろん、フル画面表示も可能になっている。

また、H.239(データ共有)が録画されたビデオ映像であれば、ウィンドウのレイアウトを再生しながら変えることも可能だ。H.239 の再生を行うと、人の顔を表示したウィンドウとデータを表示したウィンドウの 2 つが画面上に表示されるが、再生中、その 2 つのウィンドウのレイアウトを変えることができるということだ。

日立ハイテクノロジーズによると、すでに 150 拠点向けストリーミングを想定したものなど、引き合いが来ているという。また、欧州においては、一般企業以外にも、銀行やリーガルなど向けとして重要会議の録画、議事録対応等での利用、コンプライアンス教育の点からの導入検討が進められているという。

「LifeSize Video Center は、他社の同様な製品と比べて、トランスコード遅延もなく、画質もよい。その上直感的な操作環境なので、誰でも簡単に使い一元管理ができるシステムだ。日本でのライフサイズ製品導入については、多地点機能を内蔵した LifeSize Room 220 とエントリーモデルの LifeSize Express シリーズの組み合わせ導入が一番多く、そこに LifeSize Video Center を加えることで、ビデオ会議の活用範囲を広げることができと思う。」(日立ハイテクノロジーズ)

LifeSize Video Center を導入する際の保守サービスについては、1年間無償オンサイト保守が付く。

VTV ジャパン、RADVISION 社製高精細テレビ会議システムの販売開始



SCOPIA XT1000 シリーズ

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、RADVISION 社製高精細テレビ会議システム「SCOPIA XT1000 シリーズ」を発表した。(7月1日)

SCOPIA XT1000 シリーズは、1080p30fps に対応、音声については、48kHz の最新フルバンド対応音声プロトコル G.719を採用。また、PCプレゼンテーションについては、デュアルストリーム機能(H.239)を標準で装備し、1080p30fps や WUXGA(1920x1200)での送受信が可能となっている。「1080p30fps でのデータ共有では、動画を利用したプレゼンテーションもスムーズに行える。」(VTV ジャパン)

さらに、内蔵 MCU(多地点接続)機能オプションを追加すると、HD クオリティでの画面分割を含めた 9 拠点多地点接続が行える。「内蔵 MCU で 9 地点の多地点接続が行えるのは、業界最多である。」(VTV ジャパン)

出荷開始日は、7月6日からとなっている。参考価格は、本体、カメラ、マイクの基本セットで128万9,000円(税別)～。自社サポートセンター対応の独自の保守サービスも提供している。

KDDI、同社電話会議サービスの機能拡充、アクセス番号への定額通話料とPC連携機能

KDDI 株式会社(東京都千代田区)は、同社が法人向けに提供する音声会議サービス「KDDI 電話会議サービス」に対して、アクセス番号へ定額通話料で接続できる機能の拡充と、資料やアプリケーションの共有が可能な「PC 連携機能」を追加したと発表。(7月7日)

KDDI 電話会議サービスのアクセス番号への電話接続を定額通話料で利用するためには、KDDI 電話会議サービスと、「KDDI ビジネスコールダイレクト」との契約が必要になる。そして、電話会議サービスのアクセス番号を KDDI ビジネスコールダイレクトの内線番号として登録することで、同じ内線グループに登録した au 携帯電話や KDDI 電話から、定額の通話料で電話会議を利用できる。ただし、別途、電話会議サービスの会議利用料がかかる。

KDDI 電話とは、「KDDI 光ダイレクト」、「KDDI 光ダイレクト over Powered Ethernet」、「KDDI メタルプラス(事業所用)」、「KDDI-IP フォン」を指す。ただし、「マイラインサービス(マイライン・マイラインプラス)」は対象外。

PC からインターネット経由で専用サイトにログインすることで、会議中に資料はアプリケーションなどの画像情報を共有できる機能も追加した。1接続あたり 19.95 円(税込み)/分。

提供開始日は、7月12日から。

製品・サービス動向-海外

Vidyo 社のビデオ会議システム、1440p/60fps に対応

米 Vidyo 社は、通常の IP ネットワーク上で、画像解像度 1440p/60 フレーム/秒のデコードを可能とする HD 多地点ビデオ会議システムを開発したと発表。(6月7日)

この 1440p 解像度(2560x1440)は、受信映像にて対応したもののだが、1080p 解像度(1920x1080)に比べ 77%増の解像度を提供する。今回の 1440p 対応は、Vidyo 社が独自に特許を取得している「VidyoRouter」の技術により実現したも

ので、業界初の対応となるという。

この 1440p をサポートする「Vidyo Conferencing」は、4Mbps 以上の回線が必要だが、すでに Vidyo 社のバージョン 2 ユーザであれば、一定期間、追加費用なしで 1440p を利用できる。発表時点での情報によると、本年 7 月から提供の開始予定となっている。

Vidyo 社、ルームシステム向けの多地点ビデオ会議を無料で提供

Vidyo 社は、ルームシステム向けの多地点ビデオ会議を無料で提供すると発表した。(6月8日)

これにより、既にビデオ会議のインフラを所有するユーザは、新たに MCU インフラ装置を設置することなく、ビデオ会議システム端末(ルームシステム)を増やしたり、低解像度から HD 品質にアップグレードしたりすることが可能になるため多地点ビデオ会議におけるコスト削減が可能になるという。

同社によると、他社のビデオ会議ソリューションを利用した場合、トランスコード処理などのために専用の MCU 装置を必要し、1080p 解像度を使う場合のポート単価は、6,000ドルかかるという。

しかし、一方で Vidyo 社では、同社の「VidyoRoom」に限らず、シスコ/タンバーク(CSCO)、ポリコム(PLCM)、ロジテック/ライフサイズ(LOGI)のような他の主要競合他社のルームシステムと接続した場合についても、多地点のポートを全て無料にて提供する。また、同社は、これら競合他社との相互接続を可能とする「VidyoGateway」も提供しており、ポート不要のため、接続コストを大きく削減できるという。

(次のページへ続く)

シスコ、Android 搭載、HD ビデオ対応多機能ビジネスタブレットを発表、ビジネス向けアプリケーションの他、テレプレゼンスとの相互運用性、Web 会議、ソーシャルネットワークなどもサポート

米シスコシステムズ社は、モバイルコラボレーションビジネスタブレット「Cisco Cius(シスコシーアス)」を発表した。(6月29日)



Cisco Cius モバイル コラボレーション ビジネス タブレット (シスコシステムズ資料)



ドッキング ステーションにセットしたところ (シスコシステムズ資料)



Cisco Cius による HD ビデオコラボレーション (シスコシステムズ資料)

Cisco Cius は、Android OS をベースとしたコミュニケーションとコラボレーション用のオープンプラットフォームで、ユーザが移動中であっても、相手にリアルタイムで接続したり、必要なコンテンツにネットワークからアクセスして共有ができるように設計されているという。

Cisco Cius の機能としては、「Cisco TelePresence」との相互運用性、HD ビデオストリーミング、リアルタイムビデオ、マルチパーティ会議、E メール、メッセージング、ブラウジングの他、コンテンツ制作や編集、および共有、Bluetooth と Micro-USB により PC とのデータ共有も可能だ。

「Cisco TelePresence」との相互運用性の他にも、「Cisco WebEx Connect」、「Cisco WebEx Meeting Center」や、ソーシャルネットワークシステム「Cisco Quad」、ビデオポータル「Cisco Show and Share」などのコラボレーションアプリケーションスイートをサポートしている。

Cisco Cius の本体には、720p30 フレーム/秒に対応したカメラと、7 インチ高精細ワイドスクリーンスーパーVGA タッチゲットディスプレイを搭載。一方、背面には、500 万画素のカメラを搭載。VGA 画質のストリーミング、ビデオ転送、静止画の撮影が可能。音声会議用のデュアルノイズキャンセリングマイクも備わっている。バッテリーは通常利用で 8 時間使用可能。本体は、ドッキングステーションにセットすることもできる。

また、加速度センサーが組み込まれており、アプリケーションの表示も縦・横いずれかのモードに切り替えることができる。

さらに、ネットワークのインターフェイスでは、Wi-Fi (802.11 a/b/g/h) や第3世代 (3G) セルラーサービスに対応している。セルラーサービスについては、将来的には、第4世代サービスにも対応する予定。

オプションでは、HD オーディオステーションを提供する。電話機のスピーカーフォン、HD ディスプレイポート、USB ポートを備えている。

Cisco Cius は、「Cisco Unified Communications Manager(シスコユニファイドコミュニケーションズマネー

ャ)でサポートされており、シスコの既存のユーザ環境に容易に統合することが可能。また、「AnyConnect VPN Security(エニーコネクト VPN セキュリティ)」によってモバイル環境でのセキュリティを確保できる。

その他、バーチャルデスクトップインテグレーションによってサービスとしても提供することが可能という。また、Android アプリケーション開発者に「Cisco Collaboration Application Protocol Interface(API)」を提供することで、企業向けの Android アプリケーション開発の拡大もシスコでは支援していく考えだ。

ビジネス動向-海外

BT、Kontiki 社のビデオプラットフォームを追加、ユニファイドコミュニケーションサービスを拡充

英ブリテッシュテレコム社(BT)のユニファイドコミュニケーションのサービスを担当する事業部門 BT Conferencing は、Kontiki 社と提携したと発表。(6月24日)

Kontiki 社は、2000年に設立。エンドツーエンドの企業向けエンタープライズビデオプラットフォームを提供しており、「Enterprise Content Delivery Networking」は同社が提供する SaaS サービスのひとつ。今回の提携により、同社の企業向けビデオソリューションを導入し、ライブでのビデオウェブキャストやビデオオンデマンドなどを提供する。

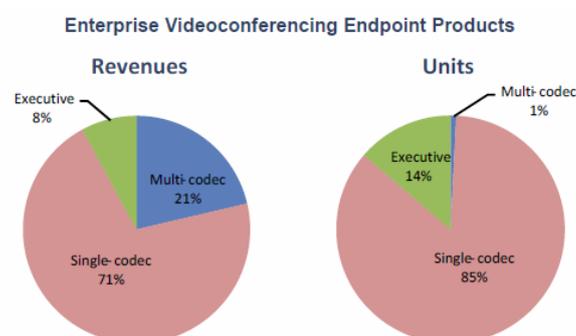
BT 社によると、企業がこのサービスを採用すると、高品質のビデオコンテンツを、迅速且つ低コストで世界各地の従業員に配信、またビデオ会議ユーザは、リアルでのコミュニケーションの他、オンデマンドでの配信も可能になるという。

BT は、世界 170 カ国でコミュニケーションソリューションおよびサービスを提供。日本支社は、BT ジャパン株式会社(東京都港区)。BT100%出資子会社。

市場動向

米 Wainhouse Research 社、2010 年第一四半期市場レポートを発表

遠隔会議システム専門の市場調査会社である米 Wainhouse Research 社が、2010 年第一四半期(1月-3月)のビデオ議市場動向についてのレポートを発売した。(2010年6月21日 Vol. 11 #13号 Wainhouse Research Bulletin に掲載)



Wainhouse Research データ

レポートは、四半期毎に発行される「SpotCheck レポート」。上記のグラフは、SpotCheck レポートに掲載されているグラフのひとつで、2010年6月21日 Vol. 11 #13号 Wainhouse Research Bulletin に紹介されている。

グラフでは、企業向けのビデオ会議端末の品目別の構成を売上(左)と出荷台数(右)で表している。まず左側のグラフでは、シングルコーデックタイプ(一般的なビデオ会議)端末が71%、マルチコーデックタイプ(複数スクリーンタイプのテレプレゼンシステム)の端末が、21%、エグゼクティブタイプ(デスクトップ仕様の端末)が8%となっている。

一方で、台数ベースでは、シングルコーデックタイプが、85%、マルチコーデックタイプの端末が、1%、エグゼクティブタイプが、14%。

Wainhouse Research, LLC <http://www.wainhouse.com>

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:2010年8月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)
 ※全ての日程で14:00~15:00、16:00~17:00の2回開催
 会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)
 主催:NEC、NEC 情報システムズ
 詳細・申込:
<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

RADVISION 社新製品体感セミナー

日時:8月5日(木)
 会場:VTV ジャパン 東京本社、大阪オフィス
 主催:VTV ジャパン株式会社
 詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1006xt1000/index.html>
 *ラドビジョン製品 SCOPIA XT1000 シリーズや SCOPIA VC240 などの紹介とデモ。

ビデオ会議システム “ 徹底的使いこなし ” セミナー ~ ユーザだから言えること、管理者だから言えること! ~

日時:8月5日(木)15:00~17:30(受付14:30~)
 会場:パナソニック電気インフォメーションシステムズ
 (東京)東京オフィス セミナールーム
 (大阪)西日本第一営業所(梅田オフィス)
 主催:パナソニック電気インフォメーションシステムズ株式会社
 共催:日本タンバーク株式会社
 詳細・申込:
<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/111>
 *大阪会場と東京会場をビデオ会議で結んで同時開催。

『クラウドコンピューティングで劇的経費削減 & 効率化の方法』実際のクラウド利用方法:ワークスタイル革新で劇的経費削減と推進力増強

日時:8月20日(金) 13:30~17:00(開場:13:00)
 会場:渋谷区商工会館 2Fセミナー室
 主催:ニューロネット株式会社
 共催:さいたまソリューションズ株式会社、ライド株式会社
 詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/seminar/s100820.html>

< 海外 >

VCI-Group

First Annual Conference - Light the way

日時:10月3日-6日
 会場:米国フロリダ州、フォート ローダーデール
 主催:VCI-Group(ユーザグループ)
 詳細・申込:<http://www.vci-group.org/events/agenda.aspx>
 *テレビ会議ユーザ団体によるカンファレンス。

The Business Communications Strategies Summit

日時:10月4日-5日
 会場:米国ワシントン D.C.
 主催:UBM TechWeb
 詳細・申込:<http://www.enterpriseconnect.com/summit/>

*招待参加者のみの有料カンファレンス。ただし参加希望の場合はサイトから申込を行う。

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。
 次回もよろしくお願い致します。

(橋本啓介)